

(児童数配付)

梅が丘小学校だより

R5. 10. 5 号外 寝屋川市立梅が丘小学校 072(825)9005



令和5年度
「寝屋川市学習到達度調査」及び「全国学力・学習状況調査」
結果の概要について

寝屋川市の「学習到達度調査」(2~5年対象)と、全国一斉に行われた「全国学力・学習状況調査」(6年対象)の結果が出そろいましたので、概要をお知らせします。これらの調査は、前年度の学年までの学習内容について、個々の習得状況と学年や学校としての傾向を把握し、今後の指導に役立てることを目的としており、今年度は、4月18日(火)に実施されました。

【学力調査の結果について】

市学習到達度調査(2~5年対象)の結果〔表1〕をご覧いただくとわかるように、概ね全国平均を超え、良好な正答率をあげています。しかし領域別に見ると、国語では「文章を読んで感じたことやわかったことを共有する」「指定された長さで文章を書く」等に、算数では「文章問題を解くために立式し正しい答えを求める」「目的に合う理由を説明する」等に課題が見られる学年もありました。今回の調査で明らかになった課題については、学年および学校全体で分析し、今後の学習指導に生かしてまいります。

全国学力・学習状況調査(6年対象)の調査については、平成30年度まで国語・算数の各種目がA問題(基礎基本)とB問題(活用応用)に分かれていましたが、令和元年度より合わさった問題となっています。結果〔表2〕では、国語、算数とも全国平均を上回る正答率となりました。しかし、国語では「原因と結果など情報と情報との関係について理解する力」、算数では「百分率で表された割合について理解する力」等に課題が見られました。

寝屋川市では「考える力」の育成をめざしていますが、今後、論理的な考え方が求められる問題等にもしっかり対応できるよう、これからも、読書活動の充実や新聞記事の活用も含め、一人ひとりに合ったきめ細かい指導を心がけてまいります。



〔表1: 令和5年 市学習到達度調査(2~5年)〕

学年・教科	本校	全国	寝屋川市
2年 国語	79.2	76.9	77.5
2年 算数	84.6	82.9	84.8
3年 国語	71.5	72.5	74.4
3年 算数	74.5	74.6	79.4
4年 国語	77.1	70.8	74.4
4年 算数	75.3	71.9	76.2
5年 国語	75.4	70.0	72.4
5年 算数	69.8	67.1	69.1

〔表2: 令和5年 全国学力・学習状況調査(6年)〕

学年・教科	本校	全国	寝屋川市
6年 国語	68.2	67.2	68.2
6年 算数	63.3	62.5	64.6

【生活状況アンケートについて】



① 朝食摂取率(%)について

右の表〔表3〕は、朝食の摂取率について、本校と全国平均の値を比較したものです。

早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣の定着が子どもたちの心身の健全な成長の基本になりますので、今後ともどうぞよろしく申し上げます。

〔表3: 令和5年 朝食摂取率〕

	本校	全国平均
2年	97.7	94.7
3年	95.2	94.9
4年	97.3	96.5
5年	98.3	96.0
6年	95.0	93.9

② 家庭学習の時間(%)について

右の表〔表4〕は、平日の家庭における学習時間の割合の一覧表です。

学校では、学年ごとの発達段階に応じて宿題を出し、学習の定着を図っています。およその目安として、「学年×10~15分」を目標にしており、内容も学年によって、その日の学習の復習や本読み、自主学習ノート等、工夫した取組を行っています。まずは、毎日の宿題をやりきらせることから、家庭学習の定着を図っていきたく考えています。

〔表4: 令和5年 家庭学習時間〕

	1h以上	1hほど	0.5hほど	しない		
2年	11.4	15.9	61.4	2.3		
全国	17.8	23.4	49.6	6.2		
3年	15.9	25.4	47.6	11.1		
全国	18.2	25.4	47.0	8.8		
4年	18.9	27.0	29.7	13.5	10.8	
全国	23.8	26.6	30.6	14.3	4.4	
5年	25.0	50.0	15.0	8.3	1.7	
全国	27.6	29.0	27.5	11.6	4.1	
6年	13.3	8.3	23.3	28.3	18.3	8.3
全国	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6

③ 夢に向かってたくましく生き抜く力の育成をめざして

下のグラフは、今年度の6年生対象の「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙において、「授業中にタブレット等のICT機器をどの程度使っていますか。(週3回以上と回答)」の質問に「週3回以上」と回答した子どもの割合、そしてまた、「学校に行くのは楽しいですか」「友達関係に満足していますか」の質問に、肯定的な回答をした子どもの割合を、それぞれ、府平均・全国平均と比較したものです。

近年、技術革新やグローバル化等が急激に進む中、子どもたちには、「変化に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力」「情報を再構成し、新たな価値に繋げていく力」等を身につけ、夢に向かってたくましく生き抜く力を身につけてほしいと思っています。そのためにも、子どもたちにとって、楽しく居心地の良い学校となるよう、教職員一同、全力で取り組んでまいりますので、今後ともご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

